

平成25年7月21日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦フレンズ 対 ソルトベイスターズ  
今季初勝利を挙げた三苦フレンズ御手洗選手の際を突いた走塁が光る！

写真：新町ウインズ 早田主大

### 雁レク10

塩浜ジャガーズ (1勝3敗1分) 10100 2 内田●—竹尾  
雁ノ巣ライナーズ (3勝1敗1分) 4120X 7 有馬○—鳥越

2BH：立石 (塩浜ジ)

初回塩浜ジャガーズは、エラーと四球でチャンスを作りワイルドピッチで1点を先制。一回裏雁ノ巣ライナーズは、ジャガーズ先発内田投手が流れをつかめず四球が続き満塁とすると、六番国崎選手の四球と七番有馬選手の2点タイムリーなどで4点を奪い逆転する。二回裏ジャガーズ内田投手は、この日も四球が絡み無死満塁のピンチ。しかし何とか踏ん張り1点でしのぐ。三回表ジャガーズは、二番道喜選手が打撃妨害で出塁し三番立石、四番の内田選手のヒットで1点を返し、流れをつかみかけるが後が続かず1点のみで攻撃終了。三回裏ライナーズ先頭の国崎選手が四球で出塁すると七番有馬、八番鳥越選手の連続ヒットで1点を奪うと、その勢いを引き継いだ九番長崎選手がダメ押しともいえるライト前タイムリーヒットを放つ。その後、何とかしたいジャガーズだったが痛いミスもありそのまま試合終了の運びとなる。(記事、写真：奈多クラブ 吉田貴史)



安定したピッチングをみせたライナーズ新人有馬投手。



ジャガーズ先発の内田投手。



一回裏、同点ホームインのライナーズ中口選手



一回裏、二三塁間に挟まれるライナーズ国崎選手。



三回表、ジャガーズ道喜選手のホームインで反撃開始といきたかったが・・・。



三回裏、ナイスバッティングをみせてくれたライナーズ九番長崎選手。



三回裏、ライナーズ長崎選手の当たりで鳥越選手がホームを突くもタッチアウト！

### 雁レクE 二者連続ホームラン等で三友クラブが快勝！

三友クラブ (2勝3敗1分) 3 1 3 2 0 0 9 福井○、足達一広瀬、柿崎

レッドサンデーズ (2勝4敗0分) 0 1 0 0 0 2 3 土師●、田中一前田

HR：柿崎、松尾 (三友ク) 3BH：杉山 (三友ク) 壱岐、前田 (レッド) 2BH：坂本、福井 (三友ク)



一回表、三友クラブ先頭の大坪選手を三振に取り調子に乗るかと思われたレッドサンデーズ先発の土師投手だったが、二番竹岡選手、三番柿崎選手の連続安打と四球で満塁とすると、六番坂本選手のセンター前へ落ちる二塁打と暴投で一気に3点を先制される。一回裏レッドサンデーズは二番壱岐選手が左中間を抜く弾丸ライナーを放つもホーム手前でまさかの転倒、タッチアウトとなり反撃の芽を摘まれる。逆に制球が定まらない土師投手から三友クラブは三回までに7点を奪うと、四回表には替わったレッド田中投手から三番柿崎選手、四番松尾選手の二者連続レフトオーバー本塁打で計9点を挙げた三友クラブがレッドサンデーズから快勝した。

(記事：奈多フェニックス 今林文彦、写真：斉藤圭介)



見事勝ち投手となった三友クラブ先発の福井投手。



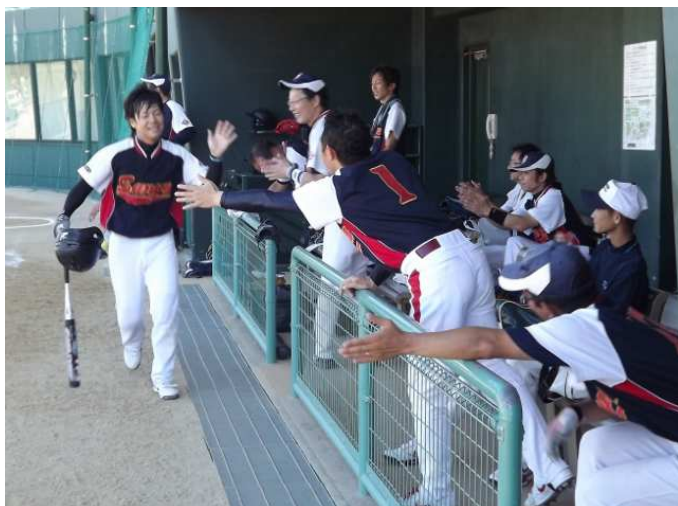
先頭を三振にするも波に乗れなかったレッド先発土師投手。



一回表、満塁から先制の二塁打を打った三友クラブ坂本選手。



一回裏、本塁を狙うも三本間に挟まれたレッド壱岐選手。



四回表、本塁打を放った三友クラブ三番柿崎選手。



四回表、連続本塁打を放った三友松尾選手(11)の背中。



## 青松園A 奈多サンデーズ、打線爆発でコールド勝ち！

ブルーマーリンズ（1勝5敗） 1 2 0 0 0 3 綱脇●ー中村

奈多サンデーズ（5勝1敗） 5 1 6 0 1 13 木下○ー荒口

HR：木下、野々下(奈多サ) 2BH：野田、秋山、江口(奈多サ) 盗塁：木下、野田、野々下、土田(奈多サ)

序盤、奈多サンデーズ先発木下投手はワイルドピッチやパスボールが連続し、ヒットは許さないものの3点を献上してしまう。しかし、打線がしっかりカバー。一回からツーベースを含むヒット5本の5得点！二回、三回も一番木下選手、四番野々下選手のホームランなど打線が爆発し7点を奪う。サンデーズ木下投手も尻上がりに調子を上げ、三回以降を無失点に抑える。終わってみると13-3、サンデーズの五回コールド勝ち。先発全員安打で優勝候補の力を存分に発揮した。（記事、写真：新町パイレーツ 安部貴大）



サンデーズ先発の木下投手。



ブルーマーリンズ先発の綱脇投手。



全打席出塁のサンデーズ一番木下選手。



レフト線へ大きな当たりを放つサンデーズ秋山選手。



体制を崩しながらも右線へ上手く持っていった鳥羽選手。



ブルーマーリンズ七番20代の井上選手。





二回表スクイズを決めた B マーリンズ渡島選手。



スクイズ成功で B マーリンズ井上選手がホームイン！

### 奈多グラウンド 投打が噛み合った三苦フレンズ今季初勝利！

三苦フレンズ (1勝5敗0分) 2 6 1 0 0 0 1 1 0 山口〇ー佐藤  
 ソルトベスターズ (2勝3敗1分) 0 0 0 2 0 0 0 2 中村(耕) ●ー酒井  
**HR** : 寺山(三苦フ) **3BH** : 中村(耕)、真弓(ソルト) **盗塁** : 場先(三苦フ)

三苦フレンズは一回表ヒットとエラーで一死一二塁の先制チャンスに四番山口選手が見事センターに弾き返し1点先制。その後ヒット、ワイルドピッチでこの回もう1点追加で主導権を握る。その裏すぐに追いつきたいソルトベスターズだがフレンズ山口投手の前に3人で攻撃終了。追加点を狙うフレンズは二回表相手のエラー2つでチャンスをもろうと二番場先選手、三番佐藤選手、四番山口選手の三連打で3点を奪うと、五番寺山選手の3ランでこの回一気に6点。三回にも1点を挙げ試合を決めにかかる。このままでは終われないソルトも四回裏エラーとフォアボールで無死一二塁のチャンスに四番中村(耕)選手の打球は左中間へ。3ランと思われたがフレンズの見事な中継プレイでホームタッチアウト！二死後三塁打と2つのフォアボールで満塁とするがここは山口投手が踏ん張り追加点ならず。五回以降もチャンスを作りたいソルトだったがヒット1本に抑えられゲームセット。強い日差しが照りつけ集中力維持が難しい中、序盤のチャンスをしっかり得点し、山口投手が4安打2失点の好投と『攻撃は長く守備は短く』が実践でき、投打が噛み合ったフレンズが今季初の白星を掴む試合だった。(記事：新町ウインズ 野田智一、写真：早田主大)



今季初勝利に向けミーティング中のフレンズライン。



さあ、試合の幕が開いた！





7回2失点と好投したフレンズ山口投手。



ソルト先発の中村耕一郎投手。



二回表、右中間に3ランを放ったフレンズ五番寺山選手。



H Rを放った寺山選手を迎え入れるフレンズナイン。



ホームランを放ち笑顔のフレンズ寺山選手。



相手守備のミスに乗じて、三塁を陥れたフレンズ御手洗選手。



惜しくも本塁打とならなかったソルト中村(耕)選手。



危なく股間に！？ソルト真弓選手。





息子の悪送球を体でとめたフレンズ生野(猛)一塁手。



今季初勝利を飾ったフレンズ亀井監督。

## 第10週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第10週、7月21日は4試合が行われました。

雁レク10の塩浜ジャガーズ対雁の巣ライナーズ戦は、先制するものなかなか波に乗れないジャガーズをライナーズ打線が見逃すはずもなく、効果的なヒットで序盤に試合を決めた。ライナーズは下位打線にヒットが集まり、ジャガーズ内田投手も気を抜くところがなかっただろう。特に三回裏の七番有馬、八番鳥越、九番長崎選手の連続安打は見事で、7-3でライナーズが勝利した。

雁レクEの三友クラブ対レッドサンデーズ戦は、三友クラブが初回二死満塁から六番坂本選手のポテンヒットにエラーが絡み3点を先制すると、その裏のレッド壱岐選手は左中間を抜けた当たりで三塁を回ったところで足が絡まりタッチアウト。これで波に乗った三友クラブは攻撃の手を休めず、三回までに7-1とすると、四回表替わったレッド田中投手から左打者の三番柿崎、四番松尾選手の二者連続レフトオーバーHRという技ありの二本でダメ押し。レッドも最終回土師選手、代打の梅野監督のタイムリーで2点を挙げるもここまで、9-3で三友クラブの勝利。梅野監督は代打成功率10割と貴重な戦力でもありますね。三友クラブの強さが伺えた試合で、十分に今シーズンの勝ち越しと上位に食い込む力はあると思います。

青松園Aのブルーマーリンズ対奈多サンデーズ戦は、うまく相手のミスに乗じて先制したBマーリンズだったが、やはり自力に勝るサンデーズ自慢の打棒が爆発し、13-3でサンデーズの勝利。サンデーズ先発の木下投手は、せっかくのノーヒットに抑えたにも関わらず、3点を奪われノーヒットノーランはなりませんでした。その分打撃でHRを含む2打数2安打2四球の活躍。また、HR王を狙える逸材の野々下選手にもやっと第1号が出ました。

奈多グラウンドの三苦フレンズ対ソルトベイスターズ戦は、序盤三回で8安打を放ちテンポよく得点したフレンズが10-2で勝利。山口投手は課題の立ち上がりを三人で片付けると、終盤にエラー、四球に長打で得点されるも踏ん張り、バックの守備や酒井捕手の刺殺等でソルト打線を2点に抑えた。山口投手の3安打2打点、寺山選手の3ランが効果的だった。やはり序盤の攻防が明暗を分けた結果となったが、試合前のミーティングからこの試合にかけるフレンズナインの気持ちが勝り、フレンズ亀井監督もホッと胸を撫で下ろしたことだろう。今季初勝利おめでとうございます。

夏休みに入り、この暑さからか外で遊ぶ子供の声より、セミの鳴き声の方が優っている感がありますが、WSLの皆さんはしっかり声を出して思いっきりソフトを楽しんでください。

そのためには冷房で風邪をひいたり、喉を傷めないように！

ちなみに、かぜ（Wind）と言えばソフトボールのウインドミル投法のウインドミルって何か知ってますか？

ウィキペディアにはこうあります。

ウインドミルは、ソフトボールの投手の投球法。投球腕の回る様が風車（windmil）に似ていることからこの名前がついた。最も打者に対する効果が大きく、現在はほとんどの投手がこの投法で投球する。

代表的な投げ方は、まず投手板の上に両手でボールを持って両足で立ち、自由足を前に踏み出しながら投球腕を身体の前から頭の上、そして身体の後ろ側を通して体側へ、そして軸足が投手板を蹴る勢いで球をリリースする（この時腕を2回以上回したり、肘から手首の間が体側から離れるのは違反である）。球をリリースする時に投球腕の肘から手首の間の部分を腰骨から太ももの間に擦り当てることによって手首のひねりにスピードを加え、より強い力を球に与えることができる。また、この手首のひねり方によってライズボールやドロップなどの変化球を投げることも出来る。

このようにして投げられたボールは、トップクラスの投手が投げた場合、塁間の近さもあって打者にとっては野球の投球の160Km/hに相当する体感速度になる。

雑学も交えながら知識も増やしていきましょう